

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 エフピコ

コード番号 7947 URL <http://www.fpco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 守正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部本部長

(氏名) 瀧崎 俊男

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 084-953-1145

平成21年11月27日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	63,002	△2.2	5,844	56.9	6,010	53.3	3,480	49.7
21年3月期第2四半期	64,449	—	3,723	—	3,920	—	2,325	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	166.65	—
21年3月期第2四半期	110.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	138,728	57,057	41.1	2,729.08
21年3月期	138,791	54,248	39.0	2,594.40

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 56,994百万円 21年3月期 54,183百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	33.00	—	43.00	76.00
22年3月期	—	50.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	38.00	88.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	△1.7	11,800	28.4	12,000	29.0	6,950	31.1	332.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	22,142,106株	21年3月期	22,142,106株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,257,798株	21年3月期	1,257,341株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	20,883,747株	21年3月期第2四半期	20,975,336株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当期の経営成績

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	増減額	前期比(%)
製品	48,100	48,929	828	101.7
商品	16,349	14,073	△2,276	86.1
売上高合計(百万円)	64,449	63,002	△1,447	97.8
経常利益(百万円)	3,920	6,010	2,089	153.3
四半期純利益(百万円)	2,325	3,480	1,155	149.7
1株当たり四半期純利益	110円86銭	166円65銭	55円79銭	150.3

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の急速な景気悪化局面から、一部で持ち直しの動きが見られるものの、雇用の悪化など、依然として厳しい状態が続いております。

当業界におきましても、消費の冷え込みに伴い、外食から中食・内食へのシフトはあったものの、食品小売においては、買上げ個数の減少、買上げ単価の下落など、非常に厳しい状態が続いております。一方、当社主力製品の原材料価格におきましても、前第4四半期から値下がりした価格が当第2四半期より値上がりに転じ、原材料コストの上昇による利益の圧迫が懸念されます。

このような状況の下、販売面におきましては、製品売上高は、原材料価格の値下がりに伴い、製品価格の値下げを実施したものの、製品数量が汎用製品・軽量化製品の拡販などにより増加し、前年同期を上回りました。他方、商品売上高は、不採算取引の見直しを進めたため、前年同期を下回りました。この結果、売上高は630億2百万円となり、前年同期比14億47百万円の減収となりました。

利益面におきましては、前第4四半期より値下がりした原材料価格は、当第2四半期より値上がりに転じたものの、原材料コスト増減による利益への影響は前年同期比13億円の改善となりました。これに対しては、製品価格の値下げを実施しております。他方、製品販売数量の増加及び製品の軽量化・素材切替が進んだこと、生産・物流などの社内合理化が順調に推移したことなどによる利益改善額は28億50百万円となり、経費7億60百万円の増加があったものの、当第2四半期連結累計期間の経常利益は60億10百万円となり、前年同期比20億89百万円の増益となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間に、販売用動産の一過性の商品売上高13億33百万円及び同経常利益4億5百万円が含まれております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、1,387億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金32億48百万円増加（当第2四半期連結会計期間末は、受取手形の流動化を中止いたしました。なお、前連結会計年度末は、20億7百万円実施しております。）、他方、現金及び預金46億54百万円の減少、たな卸資産7億57百万円の減少及び中部ピッキングセンター用地取得等を含む有形固定資産9億65百万円の増加によるものであります。

負債合計は、816億70百万円となり前連結会計年度末に比べ28億73百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金、長期借入金72億50百万円の減少及びコマーシャル・ペーパー50億円の増加によるものであります。

また、純資産合計は、570億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億9百万円増加いたしました。これは主に、当第2四半期純利益34億80百万円など利益剰余金等の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.0%から2.1ポイント増加し41.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より46億54百万円減少し、114億54百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、58億17百万円（前年同期は51億71百万円の資金獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益58億91百万円と減価償却費40億75百万円及びたな卸資産7億57百万円の減少などによる資金の増加、売上債権の増加31億74百万円及び法人税等の支払額26億94百万円などによる資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、配送センター及び工場の生産設備等固定資産の取得による支出51億80百万円などにより、56億27百万円（前年同期は50億17百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、借入金等の純減少額22億50百万円とリース債務の返済による支出17億16百万円及び配当金の支払額8億98百万円などにより、48億43百万円（前年同期は15億22百万円の資金獲得）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年10月19日に公表しました通期業績予想を修正しております。詳しくは、平成21年11月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,454	16,108
受取手形及び売掛金	29,108	25,860
販売用不動産	40	51
商品及び製品	10,128	10,912
仕掛品	52	21
原材料及び貯蔵品	1,319	1,313
その他	5,018	4,334
貸倒引当金	△94	△85
流動資産合計	57,028	58,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,440	29,603
機械装置及び運搬具（純額）	5,341	5,183
土地	24,110	22,865
リース資産（純額）	11,582	12,255
その他（純額）	3,834	3,435
有形固定資産合計	74,310	73,344
無形固定資産	1,333	1,284
投資その他の資産	6,055	5,646
固定資産合計	81,699	80,275
資産合計	138,728	138,791
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,178	13,744
短期借入金	23,682	30,484
コマーシャル・ペーパー	5,000	—
未払法人税等	2,972	2,814
賞与引当金	1,511	1,277
役員賞与引当金	38	73
その他	8,929	10,058
流動負債合計	56,311	58,453
固定負債		
長期借入金	13,855	14,303
退職給付引当金	1,431	1,371
役員退職慰労引当金	916	704
負ののれん	52	104
その他	9,102	9,605
固定負債合計	25,358	26,090
負債合計	81,670	84,543

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,150	13,150
資本剰余金	15,497	15,487
利益剰余金	31,836	29,254
自己株式	△3,904	△3,902
株主資本合計	56,580	53,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	414	192
評価・換算差額等合計	414	192
少数株主持分	62	64
純資産合計	57,057	54,248
負債純資産合計	138,728	138,791

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	64,449	63,002
売上原価	47,861	43,504
売上総利益	16,588	19,497
販売費及び一般管理費	12,864	13,653
営業利益	3,723	5,844
営業外収益		
受取利息	55	28
受取配当金	37	43
補助金収入	125	230
負ののれん償却額	52	52
その他	186	169
営業外収益合計	457	524
営業外費用		
支払利息	172	325
コマーシャル・ペーパー利息	39	0
その他	48	31
営業外費用合計	260	358
経常利益	3,920	6,010
特別利益		
固定資産売却益	5	0
賞与引当金戻入額	—	35
受取保険金	—	11
その他	1	0
特別利益合計	6	48
特別損失		
固定資産除売却損	66	109
関係会社株式評価損	44	—
減損損失	—	52
その他	15	4
特別損失合計	126	166
税金等調整前四半期純利益	3,801	5,891
法人税、住民税及び事業税	1,459	2,904
法人税等調整額	12	△499
法人税等合計	1,471	2,405
少数株主利益	3	6
四半期純利益	2,325	3,480

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,801	5,891
減価償却費	2,291	4,075
減損損失	—	52
賞与引当金の増減額 (△は減少)	83	216
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45	△35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	25	20
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	211
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	60	60
関係会社株式評価損	44	—
固定資産除売却損益 (△は益)	61	108
受取利息及び受取配当金	△93	△72
支払利息	211	326
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,301	△3,174
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,045	757
未収入金の増減額 (△は増加)	473	△301
仕入債務の増減額 (△は減少)	106	406
その他	232	206
小計	5,999	8,751
利息及び配当金の受取額	93	72
利息の支払額	△213	△320
法人税等の支払額	△708	△2,694
その他	—	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,171	5,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,863	△5,180
無形固定資産の取得による支出	△435	△351
長期貸付けによる支出	△458	△394
長期貸付金の回収による収入	730	495
その他	10	△196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,017	△5,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,400	△6,000
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	5,000
長期借入れによる収入	9,300	5,000
長期借入金の返済による支出	△5,009	△6,250
自己株式の売却による収入	—	26
自己株式の取得による支出	△732	△1
リース債務の返済による支出	—	△1,716
配当金の支払額	△632	△898
少数株主への配当金の支払額	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,522	△4,843
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,676	△4,654
現金及び現金同等物の期首残高	8,225	16,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,901	11,454

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループは、「簡易食品容器関連事業」を主たる事業としており、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める「簡易食品容器関連事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループは、本邦以外の国又は地域に存在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満でありますので、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。